

# 令和6年度第1回紀南地域高等学校活性化推進協議会

## 配 付 資 料

- 令和6年度紀南地域高等学校活性化推進協議会委員名簿・・・・・・・・・・P 1
- 紀南地域高等学校活性化推進協議会設置要綱・・・・・・・・・・P 2
- 【資料1】 令和5年度第3回紀南地域高等学校活性化推進協議会の概要・・・・ P 3  
————— 紀南地域の高等学校を取り巻く状況について —————
- 【資料2】 東紀州地域の中学校卒業者数の推移と予測（含社会増減）・・・・ P 5
- 【資料3】 熊野市・南牟婁郡中学校卒業者数と  
木本・紀南両高等学校への入学者数・・・・・・・・・・P 6
- 【資料4】 東紀州地域の高等学校への進学希望者数と入学者数・・・・ P 7  
————— 熊野青藍高等学校について —————
- 【資料5】 全日制 各学科（系列・コース）の学びについて・・・・・・・・ P11
- 【資料6】 教育課程について・・・・・・・・・・・・・・・・ P14
- 【資料7】 その他、学びに係る事項について・・・・・・・・ P19
- 【資料8】 部活動について・・・・・・・・・・・・・・・・ P21
- 【資料9】 制服について・・・・・・・・・・・・・・・・ P23
- 【資料10】 校歌、校章について・・・・・・・・・・・・・・・・ P25
- 【資料11】 入学者選抜（全日制）について・・・・・・・・ P27
- 【資料12】 開校式・入学式・卒業式について・・・・・・・・ P28
- 【資料13】 オープンスクール（高校生活入門講座）について・・・・ P29
  
- 【別添資料1】 熊野青藍高等学校について
- 【別添資料2】 東紀州未来学について

令和6年度 紀南地域高等学校活性化推進協議会 委員名簿

No		所属及び名前	
1	学識経験者	三重大学教育学部 教授 平山 大輔	継続
2	地域有識者	熊野商工会議所 青年部幹事 森本 健一	継続
3		文恵丸水産 代表 長山 行文	継続
4		紀宝町商工会 理事 産屋敷 道博	継続
5	市町教育委員会	熊野市教育委員会 教育長 倉本 勝也	継続
6		御浜町教育委員会 教育長 辻本 誠一	継続
7		紀宝町教育委員会 教育長 西 章	継続
8	小中学校PTA代表	紀南PTA連合会 会長 大倉 正宗	新
9		紀南PTA連合会 進路研究副委員長 尾崎 俊信	新
10	高等学校PTA代表	県立木本高等学校PTA 会長 道前 涼太	継続
11		県立紀南高等学校PTA 会長 藤田 信吾	新
12	同窓会・地域代表	県立木本高等学校同窓会 会長 森岡 忠雄	継続
13		県立紀南高等学校 学校運営協議会 会長 山本 章彦	継続
14	小中学校長代表	熊野市立井戸小学校 校長 松田 有紀	新
15		熊野市立有馬中学校 校長 伴 充	新
16	小中学校教員代表	御浜町立御浜小学校 教諭 木下 雄介	継続
17		熊野市立木本中学校 教諭 杉谷 賢吾	新
18	県立高等学校長	県立木本高等学校 校長 福田 英成	継続
19		県立紀南高等学校 校長 辻 孝明	継続
20	県立高等学校教員代表	県立紀南高等学校 教諭 込谷 徳隆	継続

## 紀南地域高等学校活性化推進協議会設置要綱

### (設 置)

第1条 少子化などの社会の変化が著しい中、紀南地域における高等学校の特色化、魅力化を図るとともに、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するため、紀南地域高等学校活性化推進協議会（以下、「協議会」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について具体的に検討し、協議する。

- (1) 今後の紀南地域全体における県立高等学校のあり方に関する事
- (2) 紀南地域の県立高等学校活性化の方策に関する事
- (3) 施設・設備に関する事
- (4) その他検討を要する事

### (組 織)

第3条 協議会は、学識経験者、地域有識者、小中学校PTA関係者、高等学校PTA関係者、関係市町教育委員会教育長、小中学校長代表、県立学校長代表、教職員代表等で組織する。

- 2 協議会に、会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の中から互選により決める。
- 4 会長は会務を総理し、副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は職務を代行する。
- 5 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

### (調査委員会)

第4条 協議会のもとに、必要に応じて調査委員会を設置する。

- 2 調査委員会は、テーマに応じて会長の指名する関係者で構成する。

### (会 議)

第5条 協議会は、会長が招集し、会長が議事運営する。

- 2 協議会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

### (その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は会長が定める。

### 附 則

この要綱は平成24年 7月18日から施行する。

この要綱は平成29年 6月12日から施行する。

## 令和5年度第3回紀南地域高等学校活性化推進協議会の概要

1 日時 令和6年3月22日（金）19時00分から20時35分まで

2 場所 三重県熊野庁舎 大会議室

## 3 概要

令和7年度に木本高校と紀南高校を統合して開校する三重県立熊野青藍高等学校について、両校の校長をリーダーとするワーキング会議における検討状況を報告し、新しい学校のあり方について協議を行いました。

主な意見は次のとおりです。

## 《熊野青藍高校の学びについて》

※WL＝紀南地域新高等学校ワーキングリーダー（木本高等学校長、紀南高等学校長）

○ 総合学科について、1学級となる紀南校舎でも2つの系列を設置し、多様な選択科目を開講するとのことだが、教員数が限られる中で十分な指導体制が組めるのか。

⇒（WL）2つの系列に共通する選択科目もあるため、教員が両校を行き来することと合わせて、十分対応できると考えている。

○ 紀南高校で実施している対話集会のように、地域で活躍する社会人と生徒が交流する活動を新校でも取り入れ、回数も増やしてほしい。

⇒（WL）新校でも対話集会を引き続き実施するとともに、さまざまな場面を通じて、生徒が社会人と接する機会をつくっていききたい。

○ 紀南高校で実施してきた長期インターンシップは、新校でも続けていくのか。また、地元だけではインターンシップ先の業種が少ないため、多少遠方でもさまざまな産業に触れる機会を設けることはできないか。

⇒（WL）引き続き紀南校舎で実施できるよう、現在の受入れ事業所に協力をお願いしている。なお、受入れ事業所の新規開拓を進めている中、公務員の仕事も体験できるよう、町役場等に協力を要請している。

また、インターンシップは授業時間内で行っているため、移動に時間を要する場所での実施は難しいが、短期のイベント的に実施できるものについては、今後検討したい。

○ 各校舎における総合学科の系列選択について、生徒の希望が偏った場合、人数の調整を行うのか。

⇒（WL）できる限り生徒の希望を尊重し、人数の調整等を行わずに指導できる体制を整えたい。

○ これまで紀南高校から一定の生徒が看護や福祉系の専門学校に進学していたが、紀南校舎が総合学科となることで、今後は看護師等をめざす中学生に対して、木本校舎の普通科を勧める方がよいのか。

⇒（WL）普通科と総合学科のどちらを選択しても、それぞれの学びの特色を生かして、看護・福祉系の専門学校へ進学できるようサポートしたい。

- 普通科のコースや総合学科の系列について、違いや特色がまだ見えてこない。中学生が将来の進路実現に向けて、どの学科・校舎・系列を選択したらよいのかを、高校説明会の場などで、わかりやすく示してほしい。

#### 《入学者選抜について》

- 全日制の後期選抜では、普通科、総合学科（木本校舎）、総合学科（紀南校舎）の3つから第2志望まで記入できるとのことだが、志願状況によっては、再募集で同じ学校を受検することが想定されるため、第3志望まで記入できるようにしてほしい。  
⇒（事務局）県立高校の入学者選抜では、県全体のルールとして、前期選抜は第1志望のみ、後期選抜は第2志望までとしている。新校の入学者選抜では、校舎を越えて第2志望まで記入できるよう、整理しているところである。

#### 《部活動について》

- 部活動の合同練習について、どの部活動が実施するのか。また、運動部だけでなく文化部でも実施するのか。  
⇒（WL）現段階で、新校における具体的な部活動の形態は決まっていないが、運動部、文化部ともに、令和6年度から2校間に生徒移動用のバスを走らせ、合同練習を行っていくこととしている。
- バスが十分に活用されるよう、運行に係る教員の負担が生じないようにしてほしい。  
⇒（WL）校舎間を移動するバスの運行については、業者に委託する方向で検討しており、教職員が運転業務を担うことがないようにしていく。
- 部活動も高校を選択する重要な材料となるため、各校舎に設置する部活動の種類や合同チームなどの活動形態について、できるだけ早期に決定し伝えてほしい。

## 東紀州地域の中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）

令和6年5月1日 教育政策課調べ

	R 3.3	R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3	R 13.3	R 14.3	R 15.3
卒業生数	130	127	120	120	105	100	116	86	83	66	89	73	68
前年度対比		-3	-7	0	-15	-5	16	-30	-3	-17	23	-16	-5
R6.3対比					-15	-20	-4	-34	-37	-54	-31	-47	-52
卒業生数	112	121	100	93	77	97	78	69	81	74	64	65	55
前年度対比		9	-21	-7	-16	20	-19	-9	12	-7	-10	1	-10
R6.3対比					-16	4	-15	-24	-12	-19	-29	-28	-38
卒業生数	242	248	220	213	182	197	194	155	164	140	153	138	123
前年度対比		6	-28	-7	-31	15	-3	-39	9	-24	13	-15	-15
R6.3対比					-31	-16	-19	-58	-49	-73	-60	-75	-90
卒業生数	117	119	101	107	97	108	102	106	122	100	104	82	94
前年度対比		2	-18	6	-10	11	-6	4	16	-22	4	-22	12
R6.3対比					-10	1	-5	-1	15	-7	-3	-25	-13
卒業生数	157	149	162	153	136	140	137	140	141	104	154	105	123
前年度対比		-8	13	-9	-17	4	-3	3	1	-37	50	-49	18
R6.3対比					-17	-13	-16	-13	-12	-49	1	-48	-30
卒業生数	274	268	263	260	233	248	239	246	263	204	258	187	217
前年度対比		-6	-5	-3	-27	15	-9	7	17	-59	54	-71	30
R6.3対比					-27	-12	-21	-14	3	-56	-2	-73	-43
卒業生数	516	516	483	473	415	445	433	401	427	344	411	325	340
前年度対比		0	-33	-10	-58	30	-12	-32	26	-83	67	-86	15
R6.3対比					-58	-28	-40	-72	-46	-129	-62	-148	-133

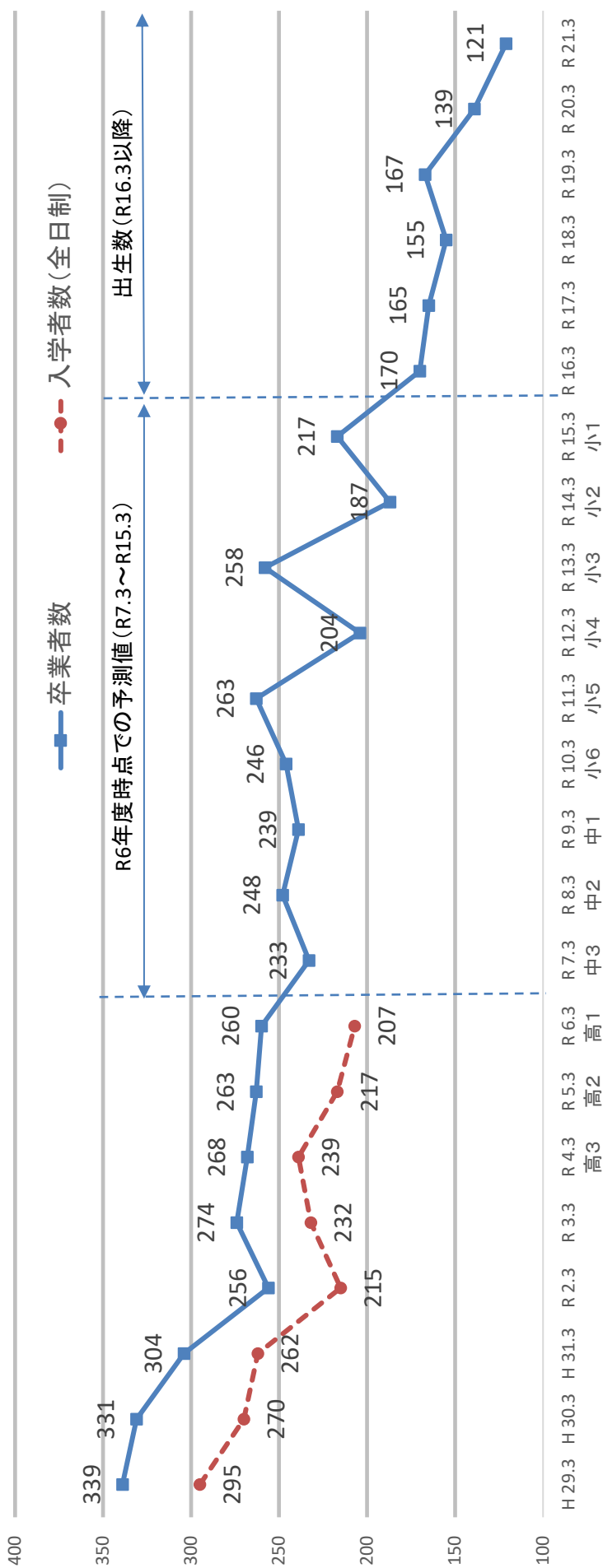
《参考》

熊野青藍

木本高校	募集定員	160	160	160	160	木本校舎
	欠員	0	1	20	0	
紀南高校	募集定員	80	80	80	80	紀南校舎
	欠員	8	0	3	36	
学級数	木本・紀南	4・2	4・2	4・2	4・2	4・1

紀南地域の		R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	R 11年度	R 12年度	R 13年度	R 14年度	R 15年度
入学定員の推移予測		5学級	5学級程度	5学級程度	5学級程度	6学級程度	4学級程度	6学級程度	4学級程度	5学級程度

## 熊野市・南牟婁郡中学校卒業者数と木本・紀南両高等学校への入学者数



【熊野市・南牟婁郡の出生数】

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
熊野市	108	60	87	82	68	54	56
御浜町	45	39	25	20	38	29	28
紀宝町	75	71	53	53	61	56	37
合計	228	170	165	155	167	139	121

木本・紀南両高等学校への入学者数は、熊野市・南牟婁郡中学校卒業者数と比較すると、地域外へ進学する生徒や就職する生徒が一定数存在することなどから、毎年40人～50人程度少ない状況です。

東紀州地域の高等学校への進学希望者数（令和5年7月・12月希望調査）と令和6年度入学者数 R6.3卒

高等学校名	R6 入学 定員	各地域別の進学希望者数と入学者数														入学数 小計	入学数 合計			
		熊野市			御浜町			紀宝町			尾鷲市			紀北町						
		7月	12月	入学数	7月	12月	入学数	7月	12月	入学数	7月	12月	入学数	7月	12月					
木本高校	160	84	82	83	40	38	38	45	25	26	26	16	13	12	1	2	2	14	161	
紀南高校	80	8	9	8	9	9	9	23	28	26	26	2	1	1	4	0	0	1	44	
尾鷲高校	160	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	79	78	78	48	53	55	133	134	
東紀州地域の計	400	92	91	92	49	47	47	68	53	52	52	97	92	91	53	55	57	148	339	
全		1	2	2	2	2	2	0	1	1	1	5	3	7	24	23	22	29	34	
日	地域外県立高校																			
制	県内	3	3	2	0	1	1	1	1	1	1	4	3	5	7	5	4	10	14	
	高専	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	6	3	2	2	3	4	
	県外高校・高専 (うち和歌山県)※	3	3	2	8	10	10	15	29	29	29	3	4	4	0	0	0	4	45	
その他(定時制/通信制/就職など)				(1)			(8)			(28)	(37)			(0)			(0)	(0)	(37)	
回答・入学者数の計		107	107	107	61	61	61	92	92	92	92	120	120	120	92	91	93	213	473	

※和歌山県への進学

(私) 近大新宮高校1人

(私) 近大新宮高校8人

(公) 新宮高校3人  
(公) 新翔高校1人  
(公) 熊野高校1人  
(公) 日高高校中津分校1人  
(私) 近大新宮高校22人

＜参考＞ 東紀州地域外の全日制高校・高専への進学希望者数とその理由

【調査対象】令和6年3月の中学校卒業生【調査方法】教育政策課による各中学校(熊野市・御浜町・紀宝町)への聞き取り

主たる進学理由	※部活動の種類		
	大学進学	部活動	就職
3市町合計	51	20	25
(うち近大新宮)	(31)	(17)	(14)
その他	6	0	0
	(0)	(0)	(0)

野球、サッカー、ソフトテニス、バスケ、ソフトボール、柔道、剣道、空手



東紀州地域の高等学校への進学希望者数（令和4年7月・12月希望調査）と令和5年度入学者数 R5.3卒

高等学校名	R5 入学 定員	各地域別の進学希望者数と入学者数														入学数 小計	入学数 合計		
		熊野市			御浜町			紀宝町			尾鷲市			紀北町					
		7月	12月	入学数	7月	12月	入学数	7月	12月	入学数	7月	12月	入学数	7月	12月			入学数	
木本高校	160	71	66	66	45	36	33	43	31	30	129	9	7	7	6	2	2	9	138
紀南高校	80	9	10	9	25	28	31	22	25	28	68	3	5	6	3	2	2	8	76
尾鷲高校	160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	89	89	53	49	48	137	137
東紀州地域の計	400	80	76	75	70	64	64	65	56	58	197	102	101	102	62	54	52	154	351
全日		1	0	1	3	3	4	0	4	4	9	5	5	4	24	20	18	22	31
域外県立高校		3	4	3	1	3	3	3	1	0	6	2	4	4	9	18	20	24	30
県内私立高校		1	2	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	2
高専		5	9	10	3	5	5	15	22	20	35	5	3	4	2	3	3	7	42
県外高校・高専 (うち和歌山県)※				(7)			(4)			(19)	(30)						(0)	(0)	(30)
その他(定時制/通信制/就職など)		10	10	10	1	3	3	0	0	1	14	6	7	6	1	5	7	13	27
回答・入学者数の計		100	101	101	78	78	79	83	83	83	263	121	120	120	99	100	100	220	483

※和歌山県への進学

(私) 近大新宮高校7人

(私) 近大新宮高校4人

(公) 新宮高校6人  
(公) 新翔高校1人  
(私) 近大新宮高校12人

<参考> 東紀州地域外の全日制高校・高専への進学者数とその理由

【調査対象】令和5年3月の中学校卒業生【調査方法】教育政策課による各中学校(熊野市・御浜町・紀宝町)への聞き取り

主たる進学理由			
大学進学	部活動	就職	その他
24	19	0	9
(19)	(3)	(0)	(1)

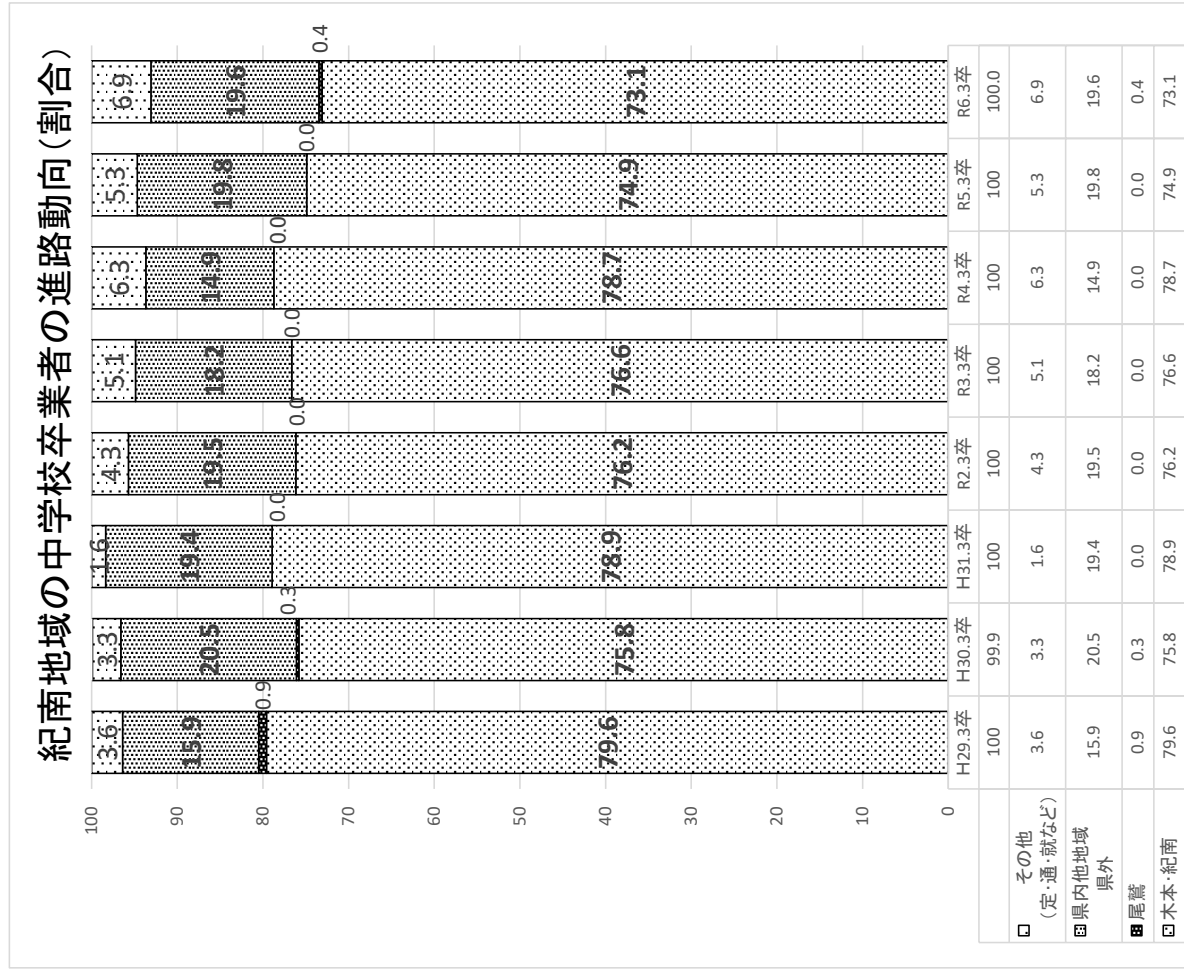
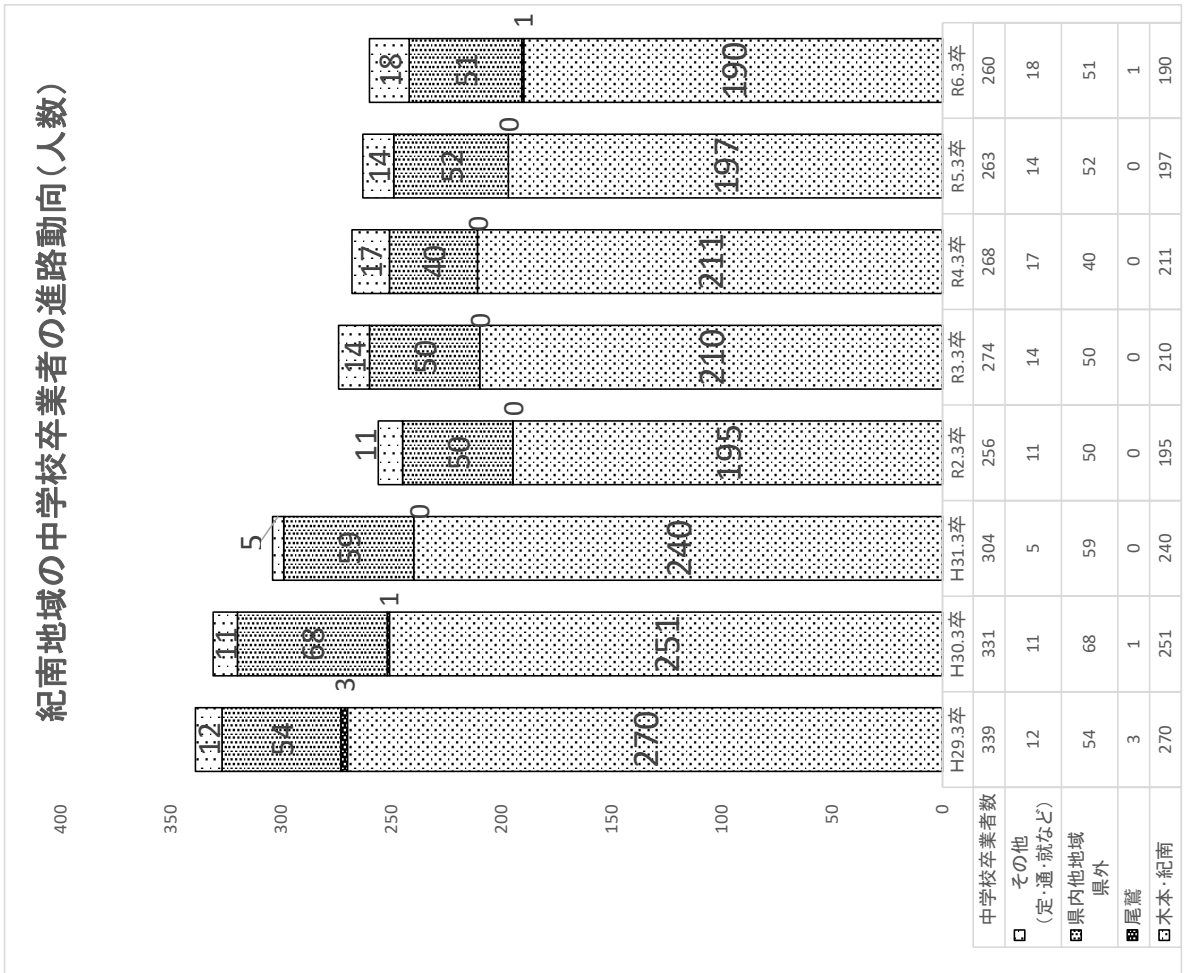
※部活動の種類  
野球、サッカー、ソフトテニス、  
バスケットボール、ソフトボール、  
卓球、ダンスなど

東紀州地域の高等学校への進学希望状況（令和5年7月・12月調査）と令和6年度入学者数【割合】  
R6.3卒

高等学校名	R6 入学 定員		各地域別の進学希望者数と入学者数【割合】												入学数 小計	入学数 合計						
	熊野市			御浜町			紀宝町			尾鷲市			紀北町									
	7月	12月	入学数	7月	12月	入学数	7月	12月	入学数	7月	12月	入学数	7月	12月			入学数					
木本高校	78.5	76.6	77.6	65.6	62.3	62.3	48.9	27.2	28.3	56.5	73.1			13.3	10.8	10.0	1.1	2.2	2.2	6.6	34.0	
紀南高校	7.5	8.4	7.5	14.8	14.8	14.8	25.0	30.4	28.3	16.5				1.7	0.8	0.8	4.3	0.0	0.0	0.5	9.3	
尾鷲高校	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4				65.8	65.0	65.0	52.2	58.2	59.1	62.4	28.3	
全	86.0	85.0	86.0	80.3	77.0	77.0	73.9	57.6	56.5	73.5				80.8	76.7	75.8	57.6	60.4	61.3	69.5	71.7	
日	0.9	1.9	1.9	3.3	3.3	3.3	0.0	1.1	1.1	1.9				4.2	2.5	5.8	26.1	25.3	23.7	13.6	7.2	
制	2.8	2.8	1.9	0.0	1.6	1.6	1.1	1.1	1.1	1.5	19.6			2.5	4.2	5.0	7.6	5.5	4.3	4.7	3.0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	0.4				1.7	5.0	0.8	3.3	2.2	2.2	1.4	0.8	
県外	2.8	2.8	1.9	13.1	16.4	16.4	16.3	31.5	31.5	15.8				2.5	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	1.9	9.5	
その他（定時制/通信制/就職など） （うち和歌山県）※			(0.9)		(13.1)	(13.1)		(30.4)	(14.2)							(0.0)			(0.0)	(0.0)	(7.8)	
回答・入学者数の割合の計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100				100	100	100	100	100	100	100	100	100

※割合は卒業生数（回答数）に対する割合（%）を表す

紀南地域の中学校卒業者の進路動向 ※資料4①～③をもとに作成



## 全日制 各学科(系列・コース)の学びについて

### 1 普通科

- 入学時から教育課程が異なる2つのコースに分かれ、希望進路に応じた教科を学ぶ。
- 授業はもとより放課後や長期休業中の進学補習の充実により、各自の興味・関心に応じた学びを深める。
- 探究的な学びを充実できるよう、総合型選抜も視野に入れた三重大学や地域との連携を進める。

#### (1) 特進コース

- ・ 三重大学、三重県立看護大学をはじめとする国公立大学や難関私立大学への進学を目標に、日々の授業を通じ、生徒の学ぶ意欲や学問分野への興味・関心等を高める。
- ・ 特に三重大学には、医学部・教育学部の地域枠推薦制度も活用して多くの合格をめざし、将来医療や教育の分野において、地域社会で活躍できる人材を育成する。
- ・ 難関大学に合格できる学力をつけるため、普段の授業や進学補習、夏季集中セミナー等で早期から発展的な学習に取り組みながら、主体的に学ぶ力を育成する。
- ・ 「特進コース担任会」や「進路検討会」等を計画的に実施し、個々の生徒の成績と必要な受験対策等を多面的に検討し、個別面談等を通じた質の高いアドバイスでサポートする。

#### (2) 普通コース

- ・ 大学、短大、看護・医療系専門学校、公務員、就職等、幅広い進路希望の実現するための力を育成する。
- ・ 高校生活の中で、体験的な活動や部活動などで総合的な人間力を高め、多面的な努力の成果を蓄積し、学校推薦型選抜や総合型選抜などでも活用する。
- ・ 「総合的な探究の時間」等において、地域の人との出会いやつながりを大切にし、互いの良さを生かして、地域の諸課題への対応を考える学習等に取り組み、卒業後、いったん地元を離れても、将来は地域の担い手として活躍できるよう、総合的な人間力を高める。

## 2 総合学科

- 「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」などにおいて、防災や産業の活性化など地域社会の課題解決をめざす探究活動「東紀州未来学」に取り組む。
- 2年生以降は、多くの専門科目や学校設定科目を含む多彩な選択科目群から、自己の興味・関心や進路希望等に応じて科目を選択して学ぶ。
- 両校舎の合同発表会等により互いの学びの成果を共有するとともに、仲間とのつながりを広げ深める。

### A. 木本校舎 ◆：コースの概要 ★：想定している進路、職業 ◎：特徴的な科目

#### (1) 情報ビジネス系列（情報ビジネスコース）

- ◆ 商業系の専門学科に近い学習内容で、パソコンや簿記・会計等の資格取得をめざす。
- ★ 事務系の就職、本校で身に付けた知識・技術を伸ばすための進学
- ◎ 「ソフトウェア活用」「ネットワーク活用」「簿記」「情報処理」

#### (2) リベラルアーツ系列

- ・ 国語・数学・英語等の共通教科やスポーツ・芸術系科目等から幅広く選択して学ぶ。
- ・ 「科目選択例」の一部として、以下のような4つのコースが挙げられる。

##### ① 総合進学コース

- ◆ 大学や専門学校等への合格と、進学後も学習で困らないための学力を身に付ける。
- ★ 主に文系の大学・短大、看護・医療系以外の専門学校
- ◎ 「国際英語」「国語表現」「日本史探究」「化学基礎」「自然と環境（学）」

##### ② 芸術教養コース

- ◆ 芸術科科目を中心に自己の趣味や特技を広げ伸ばしながら、幅広い教養を身に付ける。
- ★ 就職や、芸術系の大学・短大・専門学校等
- ◎ 「芸術Ⅱ」「音楽研究」「書道創作」「ペン習字」

##### ③ 家庭教養コース

- ◆ 家庭科科目を中心に自己の趣味や特技を広げ伸ばしながら、幅広い教養を身に付ける。
- ★ 就職や、被服・保育・調理系の大学・短大・専門学校
- ◎ 「フードデザイン」「服飾手芸」「保育基礎」「生活教養」

##### ④ 総合スポーツコース

- ◆ 保健体育科科目を中心に、多様なスポーツに親しみ、アスリートとしての力を高める。
- ★ 就職や、体育・保健系の大学・短大・専門学校等
- ◎ 「スポーツ総合演習」「スポーツⅡ」「スポーツⅥ」

B. 紀南校舎 ◆：コースの概要 ★：想定している進路、職業 ◎：特徴的な科目

(3) 地域デザイン系列（進学希望者対象）

- ・ 四年制大学や短期大学、専門学校に進学して専門的な学びをしたのち、地域に戻って地元の活性化に貢献できるよう課題解決能力などの資質・能力を育成する。
- ・ ふるさとを想い、地域が抱える課題を解決するために学びを深め、将来は東紀州地域を担い活躍できる生徒を育成する。

(4) 産業マイスター系列（就職希望者対象）

- ・ 農林水産業や土木建設業、商業など様々な地域産業に携わる人材の輩出をめざして、地元をはじめ県内外の事業所等で活躍できるよう社会生活に必要な資質・能力を育成する。
- ・ ふるさとを想い、国内外のあらゆる場所で働きながら、将来は東紀州地域を担い活躍できる生徒を育成する。

※以下の科目の選択例である「コース」は、系列に依らず選択できる

① 総合進学コース

- ◆ 四年制大学や短期大学、専門学校への進学を希望する生徒が選択する。
- ★ 公務員、保育士など
- ◎ 地理総合、地域創造学、地域産業とみかん、社会事情

② 医療・看護コース

- ◆ 看護学校や理学療法士、作業療法士となるための専門学校へ進学希望の生徒が選択する。
- ★ 看護師、理学療法士、作業療法士など
- ◎ 数学Ⅰ演習、生物基礎、演習数学、生物

③ 福祉コース

- ◆ 「介護職員初任者研修」の取得をめざす生徒、福祉系の大学等へ進学する生徒が選択する。
- ★ 社会福祉士、介護福祉士など
- ◎ 社会福祉基礎、介護福祉基礎、生活支援技術、こころとからだの理解

④ ビジネスコース

- ◆ 専門学校への進学や就職ができる幅広い知識を身につけたい生徒が選択する。
- ◎ ビジネス基礎、情報処理

⑤ コミュニケーションコース

- ◆ 通級による指導を通してコミュニケーション等、社会で必要な力を身につけたい生徒が選択する。
- ◎ ソーシャル・コミュニケーションA・B

【資料6①】

熊野青藍高等学校教育課程

【令和7年度入学生 全日制 普通科】

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年	特進コース	現代の国語	言語文化	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学A	数学Ⅱ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	体育	保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	化学基礎	歴史総合	家庭基礎	公共	生物基礎	総合的な探究の時間	L H R													
	普通コース	現代の国語	言語文化	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学A	数学Ⅱ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	体育	保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	化学基礎	歴史総合	家庭基礎	公共	生物基礎	総合的な探究の時間	L H R													
2年	特進コース	論理国語	体育	保健	古典探究	数Ⅱ	数Ⅲ	数Ⅱ	地学基礎	物理基礎	物理 生物	化学	地理総合	情報Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	数学B	総合的な探究の時間	L H R													
	普通コース	論理国語	体育	保健	古典探究	数Ⅱ	数Ⅱ	数Ⅱ	地学基礎	地学基礎	世界史探究 日本史探究	化学	地理総合	情報Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	芸術Ⅱ 数B	総合的な探究の時間	L H R													
3年	特進コース	論理国語	体育	政治・経済	古典探究	政治・経済	数学Ⅲ	世界史α(学) 日本史α(学)	数C	物理 生物	生物A	化学	化学	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	総合的な探究の時間	L H R															
	普通コース	論理国語	体育	政治・経済	古典探究	政治・経済	生物	世界史α(学) 日本史α(学)	政治・経済 国語表現 数学研究β(学)	芸術実技(学) 数学研究α(学)	倫理	文学国語 英語研究(学)	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	総合的な探究の時間	L H R																

※網掛けは選択科目

熊野青藍高等学校教育課程

【資料6②】

【令和7年度入学生 全日制 総合学科(木本校舎)】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	現代の国語	言語文化	地理総合	数学 I	科学と人間生活	体育	保健	音楽 I	英語コミュニケーション I	論理・表現 I	家庭基礎	情報 I	産業社会と人間	L	H	R														
2年	文学国語	歴史総合	公共	数学A	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーション II	選択a	選択b	選択c	選択d	総合的な探究の時間	L	H	R														
3年	文学国語	政治経済	数学研究 I (学)	体育	英語コミュニケーション III	選択E	選択F	選択G	選択H	選択I	選択J	選択K	総合的な探究の時間	L	H	R														

【2・3年次選択科目】 ※(学)は学校設定科目

2年次選択科目	系列	系列別選択科目		共通選択科目
	選択a	選択b	選択c	選択d
情報ビジネス	簿記	情報処理	フードデザイン	芸術 II
リベラルアーツ				

3年次選択科目	系列	系列別選択科目				自由選択科目			
	選択E	選択F	選択G	選択H	選択I	選択J	選択K		
情報ビジネス	ソフトウェア活用	ネットワーク活用	簿記	スポーツII	保育基礎 日本史探究	スポーツVI 生活教養	スポーツ総合演習 音楽研究(学) 書道創作(学)		
リベラルアーツ	国際英語(学)	ペン習字(学) 演奏研究	国語表現	服飾手芸 化学基礎				自然と環境(学)	



# 総合学科(木本校舎) コース別科目選択例

【資料6③】

## 1 情報ビジネス系列

### 情報ビジネスコース

2年選択a	2年選択b	2年選択c	2年選択d
簿記	簿記	情報処理	自由選択
3年E群	3年F群	3年G群	3年H群
ソフトウェア活用	ネットワーク活用	簿記	自由選択
		3年I群	3年J群
		自由選択	自由選択
			3年K群
			自由選択

## 2 リベラルアーツ系列

### ① 総合進学コース

2年選択a	2年選択b	2年選択c	2年選択d
論理・表現Ⅱ	情報基礎(学)	古典探究	自由選択
3年E群	3年F群	3年G群	3年H群
国際英語(学)	ペン習字(学)／演奏研究	国語表現	化学基礎
		3年I群	3年J群
		日本史探究	自然と環境(学)
			3年K群
			自由選択

### ② 芸術教養コース

2年選択a	2年選択b	2年選択c	2年選択d
スポーツ総合演習／論理・表現Ⅱ	情報基礎(学)	古典探究	芸術Ⅱ
3年E群	3年F群	3年G群	3年H群
国際英語(学)	ペン習字(学)／演奏研究	国語表現	自由選択
		3年I群	3年J群
		自由選択	自由選択
			音楽研究(学)／書道創作(学)
			3年K群

### ③ 家庭教養コース

2年選択a	2年選択b	2年選択c	2年選択d
スポーツ総合演習／論理・表現Ⅱ	情報基礎(学)	古典探究	フードデザイン
3年E群	3年F群	3年G群	3年H群
国際英語(学)	ペン習字(学)／演奏研究	国語表現	服飾手芸
		3年I群	保育基礎
		保育基礎	生活教養
			3年J群
			3年K群
			自由選択

### ④ 総合スポーツコース

2年選択a	2年選択b	2年選択c	2年選択d
スポーツ総合演習	情報基礎(学)	古典探究	自由選択
3年E群	3年F群	3年G群	3年H群
国際英語(学)	ペン習字(学)／演奏研究	国語表現	スポーツⅡ
		3年I群	保育基礎
		保育基礎	スポーツⅥ
		3年J群	3年K群
			スポーツ総合演習

熊野青藍高等学校教育課程

【令和7年度入学生 全日制 総合学科(紀南校舎)】

【資料6④】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	現代の国語	言語文化	地理総合	数学I	科学と人間生活	体育	保健	音楽I 書道I	英語コミュニケーションI	家庭基礎	情報I	産業社会と人間	総合合的 選択の時間	L	H	R													
2年	文学国語	国語表現	歴史総合	公共	数学A	化学基礎	体育	英語コミュニケーションII	英語コミュニケーションII	保健	選択I	選択D	選択E	選択F	選択G	選択H	総合合的 選択の時間	L	H	R									
3年	文学国語	国語表現	政治経済	基礎数学(学)	体育	英語コミュニケーションII	ビジネス・コミュニケーション	選択K	選択D	選択E	選択F	選択G	選択H	総合合的 選択の時間	L	H	R												

【2・3年次選択科目】※(学)は学校設定科目

2年次選択科目	D群	E群	F群	G群	H群
論理・表現I	地理総合(演習)	生物基礎	創作(学)	数学I(演習)	
ビジネス基礎	音楽II/書道II	ワープロ実務(学)	介護福祉基礎	地域創造学(学)	
社会福祉基礎	就労体験(学)	就労体験(学)	地域産業とみかん(学)	就労体験(学)	
			基礎振り返り(学)	ソーシャル・コミュニケーション(A(学))	

曜日・時限別群配

	月	火	水	木	金
1	I群			D群	F群
2		D群	K群		
3					E群
4			I群		
5	G群			K群	H群
6			LHR	総学	

3年次選択科目	D群	E群	F群	G群	H群	I群	K群
言語文化(演習)	言語常識(学)	社会事情(学)	国語常識(学)	論理国語 [3年HI群の4単位]	論理国語 [3年HI群の4単位]	言語文化(演習)	
生物 [3年DG群の4単位]	論理・表現II [3年EK群の4単位]	演習数学(学)	生物 [3年DG群の4単位]	化学 [3年HI群の4単位]	化学 [3年HI群の4単位]	論理・表現II [3年EK群の4単位]	
観光ビジネス	ワープロ実務(学)	実技音楽(学)/実技書道(学)	スポーツ総合演習	野外活動(学)	情報処理	情報処理	
		生活と福祉	ソーシャル・コミュニケーション(B(学))	生活支援技術 [3年HI群の4単位]	生活支援技術 [3年HI群の4単位]	生活支援技術 [3年HI群の4単位]	ここらからからの理解
			手話コミュニケーション(学)				

## 総合学科(紀南校舎) コース別科目選択例

【資料6⑤】

### ① 総合進学コース

2年D群	2年E群	2年F群	2年G群	2年H群
論理・表現 I	地理総合(演習)	ワープロ実務(学)	地域産業とみかん(学)	地域創造学(学)
3年D群	3年E群	3年F群	3年G群	3年H群
観光ビジネス	論理・表現 II [3年EK群の4単位]	社会事情(学)	国語常識(学)	論理国語 [3年HI群の4単位]
				論理国語 [3年HI群の4単位]
				論理・表現 II [3年EK群の4単位]

### ② 医療・看護コース

2年D群	2年E群	2年F群	2年G群	2年H群
論理・表現 I	地理総合(演習)	生物基礎	介護福祉基礎	数学 I (演習)
3年D群	3年E群	3年F群	3年G群	3年H群
生物 [3年DG群の4単位]	論理・表現 II [3年EK群の4単位]	演習数学(学)	生物 [3年DG群の4単位]	化学 [3年HI群の4単位]
				化学 [3年HI群の4単位]
				論理・表現 II [3年EK群の4単位]

### ③ 福祉コース

2年D群	2年E群	2年F群	2年G群	2年H群
社会福祉基礎	就労体験(学)	就労体験(学)	介護福祉基礎	就労体験(学)
3年D群	3年E群	3年F群	3年G群	3年H群
言語文化(演習)	ワープロ実務(学)	生活と福祉	手話コミュニケーション(学)	生活支援技術 [3年HI群の4単位]
				生活支援技術 [3年HI群の4単位]
				3年I群
				3年K群
				こことからだけの理解

### ④ ビジネスコース

2年D群	2年E群	2年F群	2年G群	2年H群
ビジネス基礎	就労体験(学)	就労体験(学)	地域産業とみかん(学)	就労体験(学)
3年D群	3年E群	3年F群	3年G群	3年H群
観光ビジネス	ワープロ実務(学)	実技音楽(学) / 実技書道(学)	国語常識(学)	野外活動(学)
				情報処理
				3年I群
				3年K群
				言語文化(演習)

### ⑤ コミュニケーションコース

2年D群	2年E群	2年F群	2年G群	2年H群
ビジネス基礎	音楽Ⅱ / 書道Ⅱ	ワープロ実務(学)	基礎振り返り(学)	ソーシャル・コミュニケーションA(学)
3年D群	3年E群	3年F群	3年G群	3年H群
観光ビジネス	国語常識(学)	実技音楽(学) / 実技書道(学)	ソーシャル・コミュニケーションB(学)	野外活動(学)
				情報処理
				3年I群
				3年K群
				言語文化(演習)

## その他、学びに係る事項について

### 1 両校舎で連携した学び（集合またはオンライン）

- ・ 対面式、部活動紹介
- ・ 修学旅行
- ・ オンライン国際交流
- ・ 総合学科学習成果発表会

※今年度先行して実施する取組：オンライン国際交流、総合学科学習成果発表会  
オンライン国際交流の実施状況

- ・ 三重県教育委員会「紀南地域新高等学校活性化事業」の一環として実施
- ・ 第1回 令和6年7月16日（火）14：00～15：30（実施済み）
- ・ 第2回 令和6年9月6日（金）15：40～17：10（実施予定）
- ・ 参加者数 木本高校8名、紀南高校10名、計18名

《参加生徒の感想（一部抜粋）》

- ・ 思ったより自分の英語が通じて、すごく楽しかった。
- ・ 通訳の人が優しく教えてくれて、よい経験ができた。
- ・ 英語で表現ができなくてもアシスタントの人が教えてくれるので、積極的に交流することができた。

### 2 学校行事について

体育祭・文化祭など規模の大きな学校行事については、木本高校・紀南高校と併存する令和7・8年度は、それら2校に合わせて校舎別に行う。その実施状況も踏まえ、全日制1～3年生が熊野青藍高校で揃う令和9年度は両校舎合同で開催できるよう検討を進める。

### 3 外部機関との連携した学びについて

#### (1) 「地域産業とみかん」での連携

##### ア 令和6年度の「地域産業とみかん」について

- ・ 2年生17名、3年生8名が、月曜日の5・6限目に受講
- ・ 年間で17回程度、果樹研究所やみかん園地で生育の観察や収穫作業などを体験し、かんきつ栽培について学習予定
- ・ 新規就農者との出会いを通じて、地域の魅力の再発見につなげる

##### イ 外部との連携について

###### ① 三重大学

「紀南オープンフィールド構想によるみどりのアントレプレナー共創拠点」に関連して、三重大学が「地域産業とみかん」の授業においてドローンや農業用無人車の自動走飛行実演を行う

※回数や時期は未定。

###### ② 三重県南部地域振興局

「南部の地域課題解決型フィールドワーク」に参加する3名程度の大学生等が、「みかん」を生かして地域の知名度を上げる取組を行い、「地域産業とみかん」の授業で生徒と共に活動する

※9月と2月に2回程度実施予定

##### ウ 今後の展開

県内他校においてJST（国立研究開発法人科学技術振興機構）の共創の場形成支援プログラムなどの取組で、3年続けて三重大学へ進学している実績がある。このノウハウを「地域産業とみかん」に取り入れながら、よりグレードアップした授業内容を検討していく

#### (2) 三重大学大学院生物資源学研究科主催「環境農林水産フォーラム」への参加

- ・ 令和6年7月18日（木） 熊野市文化交流センター
- ・ 三重大学生物資源学研究科立花教授による異常気象に係る講演
- ・ 農業、林業、水産業の現場における気候変動へ対応に係る講演
- ・ 高校生と三重大学学生とによる課題解決に向けたワークショップ
- ・ 木本高校生24名が参加



## 部活動について

## (1) 設置部活動と活動場所（熊野青藍高等学校生）

- ・網掛けの部活動については、一方の校舎のみで活動が行われる。

	木本校舎		紀南校舎		
	部活動名	活動場所	活動場所	部活動名	
運動系部活動	硬式野球	木本	紀南	硬式野球	両校舎で活動
	ソフトテニス (男女)	木本	紀南	ソフトテニス (男女)	
	男子バスケットボール	木本	紀南	男子バスケットボール	
	卓球	木本	紀南	卓球	
	女子バドミントン	木本	紀南	女子バドミントン	
	(男子バドミントン)	→	紀南	男子バドミントン	一方の校舎で活動
	(陸上競技)	→ 地域	紀南	陸上競技	
	女子バレーボール	木本	←	(女子バレーボール)	
	体操	木本	←	(体操)	
	ラグビー	木本	←	(ラグビー)	
	サッカー	木本	←	(サッカー)	
	柔道	木本	←	(柔道)	
	剣道	木本	←	(剣道)	
文化系部活動	茶道	木本	紀南	茶道	両校舎で活動
	書道	木本	紀南	書道	
	吹奏楽	木本	紀南	吹奏楽	
	J R C (青少年赤十字)	木本	紀南	J R C (青少年赤十字)	
	美術	木本	紀南	美術	
	(家庭)	→	紀南	家庭	一校舎で
	漫画研究	木本	←	(漫画研究)	
	写真	木本	←	(写真)	
放送	木本	←	(放送)		

※現時点では表の通り設置する予定であるが、毎年度の各部の入部状況や顧問の配置状況により部の改廃等の変更もあり得る。

## (2) 熊野青藍高等学校における部活動のあり方

- ・ 入学した校舎に関わらず、どの部にも入部できる（部員になれる）ことを基本とする。
- ・ 両校舎に設置される部については、基本的に入学した校舎の部へ入部することとする。ただし、入部状況等によっては、一方の校舎に集まって合同活動となる場合もある。
- ・ 一方の校舎にのみに設置される部については、他方の校舎の生徒は校舎を移動して活動に参加する。そのため、活動場所の校舎の生徒と全く同じ活動ができるとは限らない。
- ・ 令和7・8年度の3校併存期間は、制度上、木本、紀南、熊野青藍・木本、熊野青藍・紀南の最大4団体に分かれることが考えられるが、顧問の配置上困難であるため、同一校舎内でチームを分けることは原則しない。また、大会参加にあたり、校舎別チームか合同チームかについては、各部の状況や大会等参加規定により部ごとに判断する。

## (3) 令和7年度のバスの活用について

- ・ 学期中の平日の部活動が可能な全ての日に、両校舎から1便ずつバスが出せるよう予算要望中。（実際の運行日数は、令和7年度当初予算確定後の令和6年度末から令和7年度当初に決まる。）
- ・ 土日・祝日、長期休業中等のバス運行はしない（現地集合が基本）。
- ・ 熊野青藍高校生（1年生）だけでなく、木本高校・紀南高校生（2・3年生）が合同活動を行う場合にも乗車することができる。

## (4) 令和6年度の先行取組の状況

- ・ 令和6年度から試行的に合同練習に取り組むため、7月から2月までの授業日の放課後に、木本高校発36回、紀南高校発44回のバスを運行予定。

## (5) 木本高校と紀南高校の在校生（令和7年度2・3年生）について

- ・ 木本高校・紀南高校の令和7年度2・3年生は、それぞれ自分の学校に設置されている部活動の範囲内で参加することとする。なお、両校ともに設置されている部については、各学校の部に入部したうえで、合同活動や合同チームによる大会等へ参加もあり得る。

## 制服について

### 1 検討の過程

#### (1) 新校ワーキング会議生徒指導部会（令和5年5月16日）

##### ○ 新校の制服について

- ・ 新校の開校にあたり一体感が得られることや、性の多様性を尊重する観点、総合的な探究の時間等での活動のしやすさ等を考慮する。
- ・ 家計への負担ができるだけ小さくなるようにする。
- ・ 変更するか否かについては、中学生のアンケートをふまえて決定する。
- ・ 変更する場合は、詰め襟、セーラー服だけでなく、スーツタイプまたはブレザータイプも検討する。

#### (2) 紀南地域高等学校活性化協議会

##### ○ 第1回協議会（令和5年7月21日）

- ・ ジェンダーフリーの観点を取り入れることや、生徒がさまざまな活動をする際の機能性についても考慮して検討する。
- ・ 新校としての統一感が得られることから、新しい制服への変更を検討する。
- ・ 新しい制服を検討する際には、アンケートなどを実施し、子どもたちの意見を反映させられるよう検討する。

##### ○ 第2回協議会（令和5年11月20日）

- ・ 新校としての一体感が得られることや、性の多様性を尊重する観点、また総合的な探究の時間等での活動のしやすさも考慮し、新しい制服への変更について検討を進めている。
- ・ 新しい制服のデザイン等の検討にあたっては、中学生へのアンケートを実施し、子どもたちの意見を参考にできるよう検討を進めている。
- ・ 制服の変更については、家計への負担ができるだけ小さくなるよう検討を進めている。

#### (3) 紀南地域の中学生を対象にアンケートを実施（令和5年11月）

#### (4) 新校ワーキング会議生徒指導部会（令和5年12月14日）

- ・ 中学生アンケート結果をふまえて、制服を新しくすることを決定

#### (5) 第1回制服検討委員会（令和5年12月27日）

- ・ 企画提案コンペを行い、取扱事業者を選定

#### (6) 木本高校と紀南高校の生徒・教職員を対象にアンケートを実施 (令和6年2月)

- ・ 制服のサンプルを展示したうえで、アンケートを実施

#### (7) 第2回制服検討委員会（令和6年3月1日）

- ・ 高校生等へのアンケート結果をもとにデザイン案について決定  
(ブレザー、ズボン、スカート等)



## 2 公表

- ・ 高校生活入門講座（令和6年8月20日）で決定した実物を公表予定（Aタイプ）



## 3 その他

- ・ 令和9年度入学生までは、これまで同様の木本、紀南両校卒業生の制服を譲り受けて着用できるようにすることとし、令和10年度入学生以降は熊野青藍高等学校の制服のみとする方向で検討中

## 校歌・校章について

### 1 校歌・校章制定委員会の設置

委員構成：両校の同窓会長、校長、教頭、ワーキング総務部会員  
計 11 名

### 2 制定委員会の開催日及び協議概要

#### (1) 第 1 回校歌・校章制定委員会（令和 6 年 5 月 14 日）

- ・ 校歌・校章に関する検討事項を確認し、それぞれ制定の方向性を協議
- ・ 校章デザイン案について、在校生から募集することを決定
  - 在校生へ校章デザイン案を募集（令和 6 年 6 月 4 日まで）

#### (2) 第 2 回校歌・校章制定委員会（令和 6 年 6 月 14 日）

- ・ 校歌制作の委託先について候補を挙げて協議
- ・ 校章デザイン案から候補 4 点を選定
  - 在校生による校章デザイン案 4 点への投票を実施  
（令和 6 年 6 月 24 日から 6 月 28 日）

#### (3) 第 3 回校歌・校章制定委員会（令和 6 年 7 月 1 日）

- ・ 校歌の制作委託先について、作詞・作曲それぞれの候補を複数挙げ、依頼順を決定
- ・ 校章のデザイン案について、在校生の投票結果を踏まえ、最終案 1 点を決定

### 3 校章の制定について

#### (1) 協議の経過

- ・ 新しい学校（校名）になるので、新しい校章を作ることとした。
- ・ 両校在校生の思いを熊野青藍高等学校に引き継ぐという観点で、両校の在校生に校章のデザイン案を募集した。
- ・ 在校生から応募のあったデザイン案 18 点から、委員による投票を行い、候補を 4 点に絞り込んだ。
- ・ 絞り込んだ 4 案に対し、両校在校生による投票（総数 624 票）を行い、その結果を踏まえて最終案 1 点を決定した。
- ・ 選考に際しては、デザイン案そのものと、そのデザイン案に込めた意味や理由等も含め、熊野青藍高等学校の特色等が適切・的確に表現されていることを重視した。

#### (2) 今後の予定

- ・ 業者に委託し、デザインの仕上げを行う
- ・ 校旗の作成にあたり、地の色として、青、紺、藍色等から検討する。
- ・ 9 月頃までに校旗制作の入札を行う
- ・ 校旗完成に合わせて、校旗と校章を披露予定

#### 4 校歌の制定について

##### (1) 協議の経過

- ・ 新しい学校（校名）になることもあり、新しい校歌を制定することとした。
- ・ 現在の両校校歌については各校舎の「校舎歌」として活用していくこととした。
- ・ 校歌制定方法として、次のような方向性で協議してきた。
  - ① 木本・紀南両校の校歌の内容と、熊野青藍高校の学校像や新校名に込められた思い等を十分踏まえた校歌を制作
  - ② 紀南地域に在住または縁のある方で、木本・紀南両高等学校及び紀南地域の教育や生活に関する知識・見識を有し、なおかつ楽曲制作に必要なスキルを持つ方へ、校歌制作業務を委託
  - ③ 場合によっては、専門業者へ委託することも検討

##### (2) 今後の予定

- ・ 完成した校歌は令和7年4月の開校式にて披露予定

## 入学者選抜（全日制）について

- 入学定員：熊野青藍高等学校 木本校舎 普通科 120 名  
総合学科 40 名  
紀南校舎 総合学科 40 名
  
- **前期選抜**  
 実施学科：総合学科（木本校舎）、総合学科（紀南校舎）  
 募集枠：各学科（校舎）定員 40 名の 30%  
 検査：学力検査（国語）、個人面接  
 検査会場：紀南校舎  
 ※前期選抜では、1 学科・コースについてのみ出願できる。（県全体の規定）
  
- **後期選抜**  
 実施学科：普通科、総合学科（木本校舎）、総合学科（紀南校舎）  
 検査：学力検査（国語、数学、社会、英語、理科）  
 検査会場：木本校舎  
 ※後期選抜では、同一高等学校に設置する同一課程内の、異なる校舎・学科・コースに限り第 2 志望とすることができる。  
 例① 第 1 志望：木本校舎 普通科 → 第 2 志望：木本校舎 総合学科  
 例② 第 1 志望：紀南校舎 総合学科 → 第 2 志望：木本校舎 総合学科

下線部は令和 6 年 7 月 4 日に公表済みであり、それ以外の部分は令和 6 年 10 月頃公表される入学者選抜実施要項にて記載されます。

※なお、普通科のコース（特進・普通）については、合格発表後に入学者の希望をふまえ、入学時まで決定することとする。

## 開校式・入学式・卒業式について

新校は2校舎を一体的に運用し、両校舎が一体となった活動も行うこととしている。このことから、入学式や卒業式、入学者選抜等については両校舎を使用することを基本に考えている。式典については、校舎を交互に使用することを検討しており、新校最初の卒業式を木本校舎で、新校最初の入学式を紀南校舎で実施することとしたい。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入学式	紀南校舎	木本校舎	紀南校舎
卒業式			木本校舎

開校式については、過去の例にもならない入学式の前に実施することを想定しており、紀南校舎で実施することとしたい。

## ○ 開校式および令和7年度入学式について

(1) 日時 令和7年4月8日(水)

開校式 13:30～14:25(予定)

入学式 14:30～

(開校式に引き続き、熊野青藍高校第1回入学式を実施)

(2) 場所 熊野青藍高等学校 紀南校舎

令和6年6月13日

中学3年生の生徒とその保護者の皆様へ

三重県立木本高等学校長  
三重県立紀南高等学校長

「熊野青藍高等学校オープンスクール（高校生活入門講座）」について（ご案内）

高校進学を考えておられるみなさんに、授業体験や学校説明をとおして、熊野青藍高等学校のことを知っていただくために、「熊野青藍高等学校オープンスクール（高校生活入門講座）」を下記のとおり開催いたします。多くの方の参加をお待ちしています。

## 記

1. 期 日 令和6年8月20日（火）（予備日 8月21日（水））
2. 場 所 木本高等学校および紀南高等学校
3. 対 象 中学3年生およびその保護者、教職員
4. 日 程
  - 8：45～ 9：00 木本高校で受付
  - 9：10～ 9：15 日程説明・連絡
  - 9：15～10：00 学校説明
  - 10：15～11：05 授業体験①
  - ※別紙1「木本校舎授業体験講座」から第3希望まで選択してください。
  - 11：10～11：40 部活動見学・進路相談（希望者）
  - ※午前のみ参加の方は解散
  - ※午後も参加する方は昼食休憩後、紀南高校へ移動
  - 12：30～ 紀南高校行きのバス（無料）出発
  - 12：55～13：10 紀南高校で受付
  - 13：20～13：25 日程説明・連絡
  - 13：25～13：55 学校説明
  - 14：10～15：00 授業体験②
  - ※別紙2「紀南校舎授業体験講座」から第3希望まで選択してください。
  - 15：05～15：35 部活動見学・進路相談（希望者）
  - 15：35～ 希望者はバス（無料）で熊野市駅・木本高校へ移動
  - ※午後のみ参加することもできます。

## 5. 参加申し込み方法

下記 URL または二次元バーコードを使用して、申込フォームから必要事項を各自で入力してください。

&lt;URL&gt;

<https://forms.office.com/r/G0ksWHvCZ7>

令和6年度熊野青藍高等学校オープンスクール申込フォーム



6. 申し込み締め切り 令和6年6月28日（金）

7. その他

- (1) 筆記用具、ノート、上履き、下足用靴袋、弁当（午前、午後の両方に参加する場合）、各講座での準備物をご用意ください。
- (2) 質問等がありましたら、事務担当までご連絡ください。
- (3) 授業体験につきまして、参加していただく講座は各中学校を通して連絡します。（定員の関係で第1希望以外の講座となる場合もあります。ご了承ください。）
- (4) 延期・中止については、木本高校・紀南高校両校のホームページで案内いたします。

**【事務担当】**

（高校生活入門講座全般と木本高校に関すること）

木本高等学校（全日制） 教頭 田岡 宏一

電話：0597-89-6242

（紀南高校に関すること）

紀南高等学校 教頭 池山 直子

電話：05979-2-4850

## オープンスクール授業体験講座

学科	記号	教科名 (定員)	講座名・内容
主に普通科の授業内容	A	国語 (40人)	『文章の書き方講座』 文章の要約の仕方や表現の仕方について学びます。
	B	社会 (25人)	『映画に見る世界史』 映画に登場する人物や出来事から世界史を学びます。
	C	数学 (25人)	『「ビブン」で世界の仕組みを知ろう!』 中学生でも理解できる微分講座を行います。
	D	理科 (20人)	『顕微鏡を用いた観察』 顕微鏡を使って身近なものを観察してみましょう。
	E	普通科英語 (40人)	『高校英語の授業』 英文を読み、reading、listening、writing、speaking を使って考えよう。
主に総合学科の授業内容	F	書道 (8人)	『うちわ制作』 ・無地のうちわに文字を加えて、自分だけのオリジナル うちわを作り、書で表現する楽しさを体験します。 ・書きたい言葉を考えてきてください。 (漢字1~4字、短い言葉など 例：輝 夏空 猪突猛 進 ありがとう) ※書道セット一式(太筆、小筆、墨液、すずり、文鎮、 半紙20枚)を各自で持参してください。
	G	総合学科英語 (30人)	『Animal Bingo とアルファベットの発音の仕方』 英語でビンゴに挑戦してみましょう。
	H	商業・情報 (20人)	『地図を作ろう!!』 パソコン教室でエクセルを使って木本高校周辺の 地図を作成します。
	I	家庭 (20人)	『子どもの成長を学ぼう』 赤ちゃん人形を使って乳児の特徴を知ろう。
	J	保健体育 (30人)	『タグラグビー』 ラグビーからタックルなどの接触プレーをなくした ボールゲームです。誰でも簡単に安全に楽しむことがで きます。 ※体操服、体育館シューズを持参してください。

※普通科・総合学科のどの授業体験を選択してもかまいません。





# オープンスクール (高校生活入門講座)



実施する各講座の内容を簡単に紹介します。

番号	教科名 (定員)	講座名	内容
①	国語 (なし)	場所当てゲームをしよう!	自分の伝えたいことを言葉で伝えることは、なかなか難しいことです。 この講座では、「分かりやすい説明をしよう」というテーマで、話すことの楽しさをみなさんと一緒に学んでいきます。
②	数学 (16人)	やってみよう♪ハノイの塔	ハノイの塔は、数学のパズルゲームです。 ルールに従ってゲームを進めながら、数の規則性について一緒に学んでみませんか?
③	英語 (なし)	Let's have fun with English! ～英語の世界へ Let's go!!～	やさしい英語を使って、いろいろな中学校の仲間たちと自己紹介やゲームなどを楽しんでみませんか。英語を使って新しい扉を開いてみよう!!
④	理科 (15人)	バスボムを作ろう!	お風呂タイムを優雅にしてくれるバスボム。実は簡単に作れるんです! 自分好みの色・においを選んでオリジナルのバスボムを作りましょう! 合間に、家にあるものでもできるちょっとした科学マジックも紹介します!
⑤	社会 (なし)	都道府県ランキングゲーム	いろいろなお題から、各都道府県の特徴を知ろう! もしかすると新発見があるかもしれない…。 ※ 中学校で使用している地図帳を持参してください。
⑥	商業 (25人)	カレンダーを作ろう	表計算ソフト「エクセル」を使って、月別のカレンダーを作ります。
⑦	総合 (なし)	地域創造学	この授業では、地域の未来づくりをテーマに、防災・減災などの地域課題を解決したり、地域資源を生かしてまちづくりを行ったりする探究活動を行います。今回は、現在受講生が取り組んでいる「震災1日前プロジェクト」を紹介し、自分たちにできる防災・減災について考えていきたいと思います。
⑧	総合 (15人)	こんなときどうする? 楽しく学ぶ♪ コミュニケーション	あなたは人間関係で困ったことはありますか? なんでこうなっちゃったんだろう…。こんなはずだったんだけどなあ…。そんな悩みに対応できる考え方を、みんなで楽しく学びましょう。